

人工透析入門

腎臓のはたらき、理解できたかな？

尿を作って体の外に捨てることを、まずはしっかりイメージしてね。

(他にもいっぱいあるよ…それは勉強が進むと分かってくるはず！)

さて、腎臓の働きがおかしくなってしまったら。

体の外に、血液中にある不要物（老廃物）を捨てることができないね。

余った水分も、尿素も、早く捨てたい尿酸も…全部血液の中。

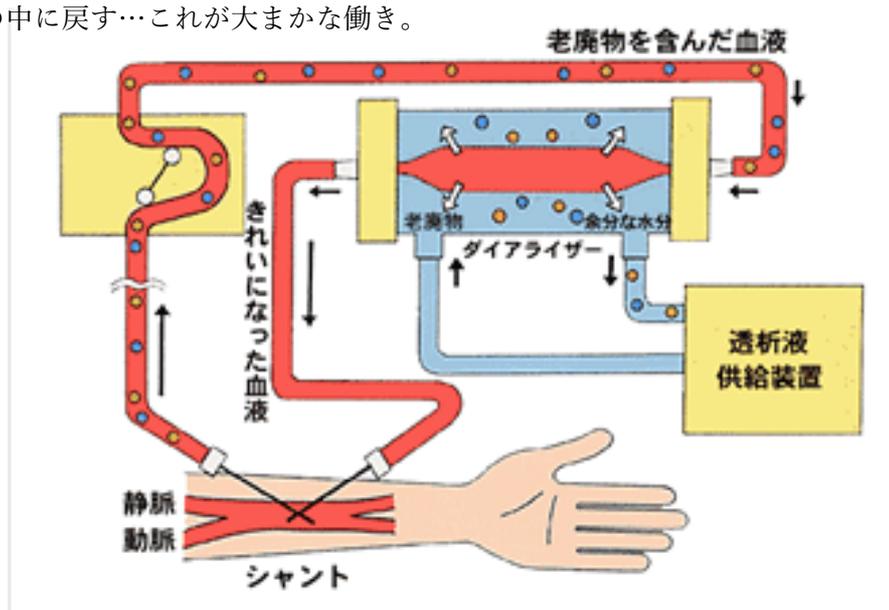
これじゃ、血液の恒常性（ホメオスタシス）なんて保てない！

だから、腎臓がおかしくなってしまったら機械に腎臓の代わりにしてもらうんだ。

それが「人工透析」。

血液を体の外に出して、機械を通して（いらぬものをろ過して）、

体の中に戻す…これが大まかな働き。



(<https://www.bishinkai.or.jp/kurosawa/dialysis/>)

でもよく考えてみて。

腎臓ほど、うまくはいかないんだよ。

体の外にたくさんの血液を取り出さないと効率よく不要物を取り出せないから、

体の表面近く（おそらく腕）に、

動脈と静脈の合流地点を人工的に作って（「吻合：シャント」）

そこから太い管を刺して血液を取り出す必要があるんだ。

シャントの管理は結構大変。

重い荷物を腕にかける、そちら側を下にして寝る…細かなことが禁止されるんだ。

そうしないと、シャントが詰まって反対側に同じものを作ることになっちゃうよ。

もちろん、機械に不要物取り出しをしてもらっている間は機械のそばを離れられない。

数時間はずーっとそのままだよ。

これを、2～3日に1回繰り返すのって結構負担だよ。

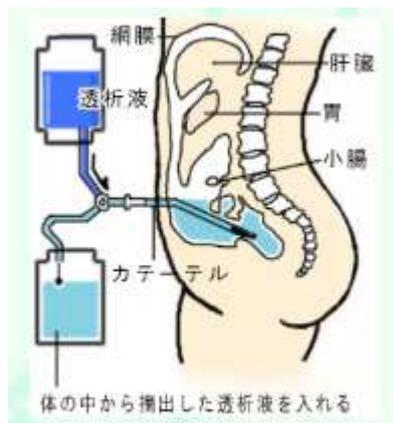
一応、腎臓の機能がそこまで悪くなっちゃう前なら

「腹膜透析」ができる可能性はあるね。

腹膜透析というのは、「ろ過」を

(腎臓なら糸球体の役目、人工透析ならダイアライザーの半透膜の役目)を体の中にある「腹膜」にしてもらうもの。

自宅で、寝ている間に透析を済ませられるから、負担はかなり軽減できるね。



(http://www.pippuclinic.pippu.hokkaido.jp/46_hukumakutouseki.html)

でも、いいことばかりじゃないよ。

自宅で感染症を起こさないように、

ちゃんと体の入り口になるところの清潔を保たないといけない。

(入浴時もカバーをかける、透析液をつなぐときにつなぐ部分を触らない等)

しかも数年(～5年)で、腹膜が疲れてしまって「ろ過」できなくなってしまうんだ。

そうしたら、人工透析しかないね。

機械があるだけ肝臓よりまし…なんて言われていけないね。

だから、腎臓が変にならないように、大事にしてあげよう！

規則正しく、バランスのとれた食事。

適度な運動…当たり前のことで、腎臓の健康は守れるんだよ！